

# 北海道医歌人会詠草



## ニホニウム

美唄 吉村 誠治

「ニホニウム」周期律表にはじめての日本名の載るは嬉しき  
百年の地道な努力報はれる一三番日本方才  
一三円お賽銭での神頼み学究の願ひ遂にとどけり  
看護学校の放射線医学一時間目先ず教えしは周期律表  
シーベルト 許容線量 半減期 しみじみ思ふ時代の移り

## エゾニワトコ

札幌 浜島 泉

国道に温泉施設一軒家 エゾニワトコが今年は稔る  
屈み込み木苺を摘む 朝霧の冷気のなかに疲労を感じず  
片足をわづかに引きて歩む人 怪我の後遺の出勤中か  
鉄骨が建ち上がりけり 秋空に車データー社屋改築  
雪浜にアイゼンを履きトラバース テレビ番組に思ひ出たざる

## 真夏の夢

釧路 児玉 昌彦

君が手を一夜貸しませこの我に愛しみ愛ずり夜を明かさむに  
花の野に酔い痴れし果て見し夢は還らざる日々、涙残れる  
タブーという重力圏越え欲望のロケットは飛ぶ宇宙の暗闇  
「何でもあり」でも「何も無い」無重力、愛も殺しもヴァーチャルな現在  
これもまた新しき自由、自己主張、モヒカン刈りのナース闊歩す

## 江の島の旅

旭川 稲積 文子

持ち帰り出来ないシラスを買い求めビールで一杯江の島の旅  
江の島を背景にして新しきカッブルの髪がドレスにゆらぐ  
気が向けばニヤンと返事をしてくれるこんな猫にも心あるらし  
苗を持ち転びてならじと膝支え必死に歩む八十七才  
菜園で採れた胡瓜に味噌をつけビールでたのしむ初夏の夕暮

## 夏の花

札幌 三宅 浩次

はかなきは露草の花庭隅に雑草交じりに小さく咲く  
北国の夏は短く入れ替わりまた入れ替わる花の命も  
外国のカサブランカは派手にして我家の庭になじむことなく  
わびさびの奥の深さはわからぬが日本庭園に心なぐさむ  
幼き日四葉をみつけ喜んだそれが奇形だと思ふことなく

## 公園のビヤパーティー

札幌 古屋 統

駅近き假设テントに西陽差し職場を言いて論駁熱し  
車社会普及の陰に職域の杯交すこと減ると聞けども  
車なきわれらが世代夕されば同志相寄り酌みて論じたる  
ビールの席娘を誘う夜更かしと深飲み好まぬ性癖知りて  
アルコール飲めぬ妻をも誘いたり財布の紐の硬さ待みて